

午後 II 試験

全問に共通して、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”又は“論述の対象とする製品又はシステムの概要”が適切に記述されていないものが多く見られた。これらは論述の一部であり，適切な記述を心掛けてほしい。また，解答字数の不足した答案が例年より多く見られた。

IT ストラテジストの経験と考えに基づいて，設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。問題文及び設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は，評価が低くなってしまうので，是非，留意してもらいたい。

問 1（IT を活用したグローバルな事業について）では，グローバルな事業戦略を理解した上で，業務改革案を企画し，適切な情報技術の活用案を練り上げて，経営層に進言した経験のある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，グローバルな事業戦略，事業戦略にひもづいた業務改革について十分な記載がなく，システム開発，システムへの機能追加，システム統合などの記載に終始していた論述が散見された。

問 2（緊急性が高いシステム化要求に対応するための優先順位・スケジュールの策定について）では，全体システム化計画の策定に関わった経験，又は全体システム化計画の下で，情報システムの導入・改修を実施したことのある受験者には論述しやすかったと思われる。一方で，個別システムのサブシステム，個別機能の優先順位・導入スケジュールの論述に終始しているものも散見された。

問 3（多様な顧客要求に応えられる組込みシステムの製品企画について）では，市場調査などを実施し，それらを基に課題の抽出，課題に対する施策を協議し，製品を企画した一連のプロセスに対し，経験のある受験者は論述しやすかったと思われる。一方で，多様な顧客要求への対応ではなく製品自体の課題の抽出など題意から外れた論述も散見された。